



生田原教育センターキッズチャレンジ

水鉄砲で全身ズブ濡れも…

7月20日(土)、常呂川森林ふれあい推進センターの要請を受けて、生田原教育センター主催のキッズチャレンジ「森林教室」を支援しました。

この取り組みは2015年から行われ、今年で5回目～参加する子供たちに「去年と同じ…」と思われないようプログラムを一部変更しながらの実施です。

小学1年生～中学生(2名)の16名の子供たちをオホーツクの森に迎え、森林探検・川遊び等を楽しみました。



まずは、2組に分かれてカモフラージュ、フィールドビンゴ、双眼鏡を使っての動物(カード)さがし、ロープをクモの糸に見立てたクモの巣くぐりなどのゲームを交えながらの森林探検です。

そして、今年初登場の「樹名調べ」…「すべすべの肌」「大きな葉っぱ」などのヒント(答えはホオノキ)を頼りに樹木(樹名板あり)を探しますが、こどもたちにとっては結構難問だったようです。



森林散策の後は、ブランコ、ターザンロープなどの会員手作りの遊具や川遊び～水鉄砲で全身ズブ濡れになる子や笹舟作りに夢中になる子など、自然を目一杯

楽しみ、オホーツクの森をあとにしました。

当日、お手伝いいただいたのは、吉田(昭)、栄、小山、松原の各位です。

<小島>

夏休み子ども体験デー

暑かった!

アツ・アツでした

集まった!

8月6～7日、常呂川森林ふれあい推進センターの要請を受け、北見市木のプラザで行われた「夏休み子ども体験デー」に協力参加しました。

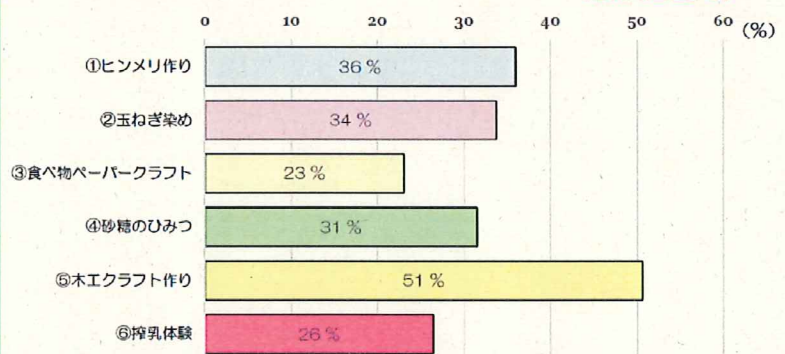


この取り組みは、北海道農政事務所北見地域拠点、北海道森林管理局（網走南部署・網走中部署・常呂川FC）の共催によるもので、子どもたちに農林水産業への理解を深めてもらうために行われているものです。（昨年までは、名称：「子ども見学デー」、会場：東小学校でした。）

会では、マツブックリクラフト、タネ飛ばし、竹とんぼ、ミニジオラマ、丸太切り体験などを常呂川FCと取り組みました。

2日間でおよそ400名（子ども240人）の参加があり、会場は大賑わい、休む暇もないほどで、アンケート結果でも一番の高評価（51%）でした。

4. 体験コーナーで、おもしろかったのは何ですか？ （有効回答者数：178）（複数回答可）



冷房のない会場で、大変暑い中ご協力をいただいた皆さん、ありがとうございました。（北海道農政事務所から感謝の礼状が届いています。）

なお、参加者は次のとおりです。

【長谷川、渋谷、小島、吉田（正）、大野、松原】

<吉田（昭）>

夏休み子ども体験デー

低学年が楽しめる工夫も…

今シーズンの行事はアツ〜ィか、雨で中止のどちらかで…今回もなかなかの暑さでした。

会場が東小学校から木のプラザに変わったこともあって、昨年と比べて160%アップ（私の感覚）の240人…大忙しの暑く、楽しい2日間でした。



そんな中で感じることは、参加する子供たちがどんどん低学年になっていること…3年生くらいまででも楽しめるような工夫が必要かと思えます。

それにしても、暑かった(^_^)…皆様、お疲れ様でした。

<渋谷>



なるほどクイズ

(答えは会報のどこかに…)

札幌を中心に北海道のアチコチでクマが出没～連日ニュースになっています。

南区のクマを駆除したことに対しても、賛否さまざまな意見が寄せられているようです…。

駆除、共存共栄、どのような方策を講じていくのが良いか、難しい問題ですが、どちらにしても「ヒグマ」のことを知らないと話になりません。

そこで問題です。ヒグマの寿命は何年くらいでしょう？一般的に、動物は身体が大きくなるほど長寿命ですが…。

クラフト研究隊

夏休みの自由研究はこれ！

8月4日（日）、クラフト研究隊は常呂川森林ふれあい推進センター2階会議室で、センター磯野さんの協力も得ながら、森林の素材を使った「ネイチャークラフト」を総勢12名で行いました。

今年で2回目の開催となり、手足や首が動く人形作りや、真っ白な靴に自由にペイントしてもらった新たなクラフト作りに挑戦しました。

子供たちも最初は勝手が分からず手取り・足取り教えていましたが、やっている内に少しずつ要領も飲み込んで手先も動き出し、見本を見ながら自由な発想で、夏休みの自由研究作品作りに励んでいました。

「もっと色々な材料を使って良いですか？」と大作に挑む子や、「もう一つ作っても良いですか？」と何個も作る子もいました。



子供たちの楽しそうな様子に「大人も作りたい！」と子供以上に熱中するお母さんもいました。

今回初めての靴ペイントでは、子供たちの個性も大いに表れ、コツコツ書き込む子もいれば、大胆にペンを入れる子もいて、集中する中でも賑やかにあっという間の2時間でした。

ただし、今後も夏休み中の開催となり、エアコンの使えない環境で行うのは厳しいかなと感じました。

実際に「暑い・暑い」という子や、ぐずる赤ちゃんもいたので、開催場所については一考が必要だと思います。

【参加者：吉田（正）・渋谷】

<渋谷>

第4回自主活動

子どもたちの受入れ準備 OK!

第4回自主活動は、7月16日(火)、生田原教育センターキッズチャレンジ・子ども探検隊の受け入れ準備を中心に行いました。

最初に、常呂川FCから「キッズチャレンジ」「子ども探検隊」の概要、プログラム説明を受け、具体的作業に取りかかりました。

川の周辺では、子どもたちがケガをしないよう、足元の草・笹を刈り払うことからスタート～ハンモック、ターザンロープ、ブランコを設置、樹名調べの看板設置(樹木博士の準備を兼ねました)、クモの巣の設置などを手分けして行いました。

また、「ふれあいの森」活動として、昨年植えたエゾムラサキツツジの刈り出し、歩道整備も行いました。

参加者は次の通り、お疲れ様でした。

【栄、角、長谷川、植村、小山、小林、吉田(正)、渋谷】

<小島>

【なるほどクイズ】 答え



飼育下では、メス38歳が長寿記録(名古屋、東山動物園)で、出産については28歳(登別クマ牧場)が最高齢です。

集団飼育下では、順位争いを強いられるオスは、メスより10歳くらい短命で15歳くらいから争いに参加しなくなり、現役引退(?)になるようです。

野生のクマの寿命については、調査・記録したものがなく分からない(個体識別に基づき長期間にわたって調査する組織がない)のが実情で、そうしたことができる社会を作ることがクマによる事故や被害をなくすことにつながります。

(北海道新聞社発行「よいクマわるいクマ」より抜粋)



※ 申し込みは、別紙申し込み用紙を活用下さい

○第5回自主活動 (5~10月、第2火曜日を基本&必要に応じて)

日時 2019年 9月18日(水) 9:30~
場所 森の家集合
内容 「森の家」周辺の環境整備、古の森歩道(木橋)整備他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 9月10日(火)まで

○森へおいでよ! パネル展 (常呂川FC共催)

日時 2019年 9月28日(土)~10月6日(日)
場所 緑のセンター
内容 パネル、クラフト等の展示、木工クラフト教室
9月27日(金) 13:30~ 会場作り、パネル等展示
28日~10月4日 (展示のみ)
10月5日(土) 10:00~15:30 展示及びクラフト教室
6日(日) 10:00~15:00 展示及びクラフト教室
15:00~ 撤去作業

申込み 協力参加できる方は、9月24日(火)まで
クラフト教室参加は自由ですのでご家族・ご友人を誘って参加下さい。

○秋の森林散策会

日時 2019年10月12日(土)
常呂川FCより貸し切りバスが出ます。
集合 7:45
出発 8:00
到着 16:00予定

場所 滝上町「錦仙峡」
内容 森林散策他
持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物他
参加費 200円
申込み 10月 3日(木)まで

★この散策会はコープ未来の森づくり基金2019年度少額助成を受けて実施します。

★散策会の下見を兼ねて「自然に学び隊」活動を行います。

9月19日(木)、参加希望者は、9月12日(木)までに連絡願います。(詳細は参加希望者に連絡します)

○第6回自主活動 (5~10月、第2火曜日を基本&必要に応じて)

日時 2019年10月8日(火) 9:30~

場所 森の家集合

内容 「森の家」周辺の環境整備、樹木博士準備(看板設置)、飾り炭予行演習他

持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他

申込み 10月1日(火)まで

○第2回森林づくり塾

主催 常呂川森林ふれあい推進センター

日時 2019年10月19日(土)

常呂川FCより貸し切りバスが出ます。

8:30 受付開始

9:00 バス出発

15:30 帰所予定

場所 オホーツクの森他

内容 森林づくり作業(補植他)と苗づくりの勉強会

持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他

参加費 200円

申込み 10月10日(木)まで

○炭作り隊&色々食べ隊

日時 2019年11月2日(土) 9:30~

場所 森の家

内容 飾り炭作り、大焼物食事会(イモ・肉・魚他)

持ち物 飾り炭材料、作品持ち帰り用入れ物、おにぎり、食材費500円
(差し入れ、持ち込み大歓迎、アルコール禁止)

申込み 10月29日(火)まで

子ども探検隊

藻琴山散策会



中止しました



7月27日(土)に予定していた「子ども探検隊」、8月24日(土)予定の「藻琴山散策会」は悪天候のため中止となりました。

特に、「藻琴山散策会」については昨年に引き続き(; ;)...楽しみにしていた方も多いと思いますが、天気だけはどうにもできません。

木々に関するつぶやき

【キノコ】

キノコとは、「特定の菌類のうちで、比較的大型の（しばしば突起した）子実体あるいは、担子器果そのものをいう俗称」とある。（ネット検索）

そして菌は、その生活（？）方法により、「腐生」「共生」「寄生」に分類することができる。

でも、そんな難しいことより、「食べられるか否か」が問題であり、おいしいキノコがいつ、どこに出るかを知りたい…。



会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



心当たりの方はよろしくお願ひします。

— 納入方法 —

- ・ 総会および会が主催・参加するイベント時に納入
(会報等でご確認ください)
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の郵便局口座に振り込む（手数料がかかります）

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

FAX 0157-26-2144